



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第16回例会

開催日時: 2023年9月28日(木)午前7:30 ~ 8:30
開催場所: オークラアクトシティホテル浜松 3階チェルシーの間

■会長挨拶 小澤会長

・本日は、早朝より、ガバナー中村様、地区幹事影山様、ガバナー補佐岩崎様、事務局長村松様にお越しいただきありがとうございます。

・2021年5月25、日本のロータリー100周年を祝う会での千玄室実行委員会委員長の基調講演「果たしてロータリーとは？過去・現在・未来」をお伝えしたいと思います。

・ロータリーのこれからの100年は、多くの課題があるけれど、課題は簡素にしてもっともっとロータリーというものに対して魅力を感じてくれる人達を増やすようにしてはどうなんだろうかと。今、会員は減っている。次のRI会長も会員を120万人以上、125万人までにしようということをおっしゃっている。言うは易し。なかなかできません。会員一人が一人を紹介すると言われても、ロータリーに入ってください、と頭を下げて入ってもらわなければならないようなロータリーでは、私はダメだと思えます。ロータリーに入れてください、私は入りたい。ロータリーに入って自分を学ばせていただきたいという方向に持っていかなければ、私が入会した頃、ロータリーは「紳士の道場」と呼ばれていました。「ロータリーに入った以上は紳士にならなくてはだめだぞ」。先輩方から厳しく言われました。今は男女平等で、女性のガバナーやRI理事も出られています。いろいろな意味においてロータリーは大きな変化を今、遂げる時であると思えます。その変化というものは、理事会だけで討論して決めていく、そして規定審議会に提案を出していく、規定審議会でも分からないままに手を挙げて賛成してしまう、そういう組織の未来など私は想像できないのです。

ロータリーの未来というものは、例えるならばもっと走りやすいハイウエーを建設していくということが大事だと思います。素晴らしい機能を持った、多様性のハイウエーを造っていくことによってそのハイウエーを各国のクラブがどんどん通っていきける。事故なく、そのクラブがそのハイウエーを安心して走っていきけるような、そういうような組織を創ってもらわないといけない。今はハイウエーを逆走する人もいっているように感じております。私もいろいろなところでいろいろなロータリーを見てまいりました。日本のように、堅実にロータリーのルールを守って、軌道に乗せているところは本当に数少ない。自分たちがやりやすいように運営しているような国や地域もあります。また、模範的なクラブの組織を創り、定款を整えても、それを乗り越えてしまっ、それぞれの国での慣習、そういうものを加えてクラブが存在しているのも現状です。ロータリーとは、模範的なクラブがあってこそ、そのクラブに入っている会員があってこそ国際的な組織につながるのです。ですから、クラブを大事にしないとイケない。そしてそのメンバーが、メンバー同士をもっともっと深く信じ合う心を交わさなければ。ただ、「ああ、あの人もメンバーだ。この人もメンバーだ」と漫然に思うだけではなくて。私はいつも言うのです。東京RCは東京RCの会員が、会長を信じて、みんな一緒。そしてみんなが差別差別なく語り合い、肩を組み、手を貸し合っていく。そういうところから私は、1つの職業奉仕を通じた奉仕活動というものが大きく育っていくのではないかと考えております。

ロータリーから奉仕を取ったら、もう未来はありません。ですから奉仕という言葉に対して、言葉だけにとらわれるのではなくて、その言葉の意味、哲学というものをもう一度クラブにおいて、会員が語り合い理解し合っていたいただければ、このロータリーという大河は、つつがなく目的地に流れていくでしょう。善意という波は、大きく地域社会に打ち寄せていくものであると思えます。私たちは善意の心をもって、そして、自分の手をもって人さまのために、何かできないか。それをすることを考えることが、未来への私たちの一つの歩み方ではないでしょうか。

我々の浜松志耀ロータリークラブは地域に根差し、地域に恩がえしをする。そして、子供達に寄り添うための活動を推し進めて参ります。どうぞご協力をお願い致します。ありがとうございました。

■ガバナー公式訪問 2620地区ガバナー 中村皇積 氏

皆さま、おはようございます。本年度地区ガバナー職をお預かりしました中村皇積です。1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、かつてのリーダーは、【ビジョンある行動は世界に希望をもたらす】と言いました。本年度会長 ゴードン・マッキナリーさんも【世界に希望を生み出そう】という言葉で同じ表現をされています。そう、ロータリーのリーダーシップは、引き継がれ、時代に即して進化していくものなのです。年度年度の会長テーマは、このようにビジョンを達成・推進するためのアプローチとして、その時々々の時勢に即して示されます。今こそ、希望を生み出す行動が求められています。

ゴードン会長は、私たちが共有するビジョンを示し、私たちの使命である平和への取り組みを呼びかけられました。

私たちのビジョンには2つの視点が含まれています。

一つは【世界で、地域社会で】、もう一つの視点は【自分自身の中】です。

ゴードン会長は、この両面において、希望を生み出す土壌となる平和への取り組みを強調され、世界に希望を生み出そうと示されました。

私たちは常に、内面に何かを抱えているものです。人に仕えるService、気遣い、寄り添うまごころ、Fellowshipは、私たちの最も得意とすることで、世界にも、私たちの内面にも穏やかな希望を生み出します。皆さまの活動全ての目標は希望を取り戻すことです。私たちが得意とすることを継続するとともに、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、私たちは、より平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。皆さまのご献身に感謝を申し上げます、公式訪問とさせていただきます。



■幹事報告 田淵幹事

1. ポリオ撲滅活動「古着deワクチン」皆様からご協力いただいた古着を本日の例会で中村ガバナーにお渡しします。ありがとうございます。
2. 10月14日15日の地区大会が開催されます。会員は15日(日)9時集合です。当日は、名札をもらって、案内図に従って着席して下さい

■委員会報告 大志育英委員会「街頭募金について」小川会員

9/30(土)10時30分～13時30分 @浜松駅北口・遠鉄百貨店入口付近
集合時間:10時20分(役員は9時45分)
会員30名、米山奨学生6名、青少年交換6名の31名が参加予定

■スマイル

- ①会長・幹事等から—中村ガバナー様はじめご一同様へご来会の御礼
- ②衛藤会員—10/3のゴルフコンペに当クラブから参加します

※ご来賓4名(ガバナー:中村皇積氏、地区幹事:影山忠弘氏、ガバナー補佐:岩崎伸次氏、ガバナー補佐事務局長:村松宣雄氏)
※ピジター2名(浜北RC:松下ひとみ氏、米山奨学生:李根さん)
※出席率:78.1%(会場19名+BAND 6名=25名/32名)



国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクトシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

